

「自転車でゆく上高地(4) 大正池にて」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



「太兵衛平」のバス停から、「大正池」のバス停までは、この自転車コースでも一番景色のいいところだ。カーブのたびに、正面に穂高連峰が見えて、誠に贅沢な景観の中を疾走できる。ただし、県道は非常に狭いので、バスの追い越しやすれ違いには、十分に注意したい。本来は、上高地の環境に、最もやさしい自転車が最優先の道路のはずだ。しかし、バスやタクシーにとっては、自転車は「邪魔者」でしかない。確かにバスやタクシーは営業、自転車は単なる遊興である。カーブでバスが来たら、路肩に寄せて道を譲ろう。



急ぐ必要は何もない。トンネル出口から上高地までは5km余り。ゆっくり走ったほうが得である。バスに道を譲って停まると、残雪のそばにフキノトウを見つけた。ここでは季節はまだ「早春」なのだ。



「大正池バス停」の手前に、このコース一番のすばらしい風景が待っている。大正池越しに、穂高連峰を望める、絶景ポイントだ。残念ながらここにはバス停も、駐車スペースもないので、めったに訪れる人はいない。自転車乗りだけが独り占めできる風景だ。



「大正池と穂高連峰」 2015, -5, -2 C. Tanaka
水彩 (はがきサイズ) 描画時間; 約30分

大正池を眺めるには、大正池バス停で降りて、「大正池ホテル」の下の湖畔まで行くのが普通だ。しかし、この場所に行く方法もある。大正池バス停から、県道を松本方面に少し歩けば良い。道は狭く、バスやタクシーが頻繁に通るので、十分注意が必要だ。しかしそれだけの価値がある景観だと思う。